

# 精華町教育委員会議事録

平成30年（第11回）

1 開 会 平成30年11月28日(木) 午後4時00分  
閉 会 平成30年11月28日(木) 午後5時30分

2 出席委員 川村教育長 松本委員 新司委員  
岡島委員 松下委員

3 欠席委員 なし

4 出席事務局職員

岩崎教育部長	片山総括指導主事
竹島学校教育課長	石崎生涯学習課長
上原学校教育課係長	

5 傍聴者 3名

6 議事の概要

(1) 開会

教育長から第11回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回議事録について

教育部長から平成30年第10回教育委員会の議事録について説明。

**【採 決】**

・全員承認

(3) 教育長報告事項

前回の教育委員会以降、教育委員会として町内8小中学校への訪問を行った。委員各位におかれては、ご多用の中出席いただきお礼申し上げたい。

教育委員が全町立小中学校を訪問する事は、非常に意義のあることである。学校を訪問しての感想や意見などについては後ほど伺いたい。

また、この間に開催された行事等で教育関係の主なものについて報告させていただく。

スポーツに関しては、山城中学校駅伝大会、相楽小学校駅伝大会、せいかマラソンが開催された。山城中学校駅伝大会は10月20日に高山ダムで開催され、乙訓地方と一部の私学も含む44校が参加した。町立中学校については、男子の部では精華西中学校の16位、女子の部では精華南中学校の10位が最高位であった。相楽小学校駅伝は11月10日に不動川公園で開催され、合計で29チームが出場した。町立小学校については、精華台小学校が優勝、東光小学校が6位と健闘した。この2校が12月1日に太陽が丘で開催されるやましろ未来っ子EKIDENの出場権を得ており、今後も頑張ってもらいたいと思う。11月4日には、せいかマラソンがむくのきセンター一帯で開催され、ジョギングの部とマラソンの4部門で、合計約400人の参加があり、そのうち約半数が小・中学生であった。

文化に関するもの、他の行事関係では、せいか祭りが11月18日に開催され、併せて精華町子ども祭りが同時開催された。この点については、後ほど生涯学習課長から報告させていただく。子ども祭りでは合唱や吹奏楽などの演奏、絵画の発表があったが、本町各学校の音楽活動が非常に高い水準にあり、さらなる発展のための支援を行っていきたくと思った。他に、11月7日には相楽の中学校音楽交流会がやまなみホールで開催され、各中学校のクラス対抗合唱コンクールで勝ち抜いたクラスが出場した。

スポーツや文化の活動は、見ていて感動や爽快感、楽しさがあり、出場者の皆さんを大いに称えたい。また、指導や準備に当たられた皆さんをはじめ、教育委員にもご協力、ご参加をいただき、感謝を申し上げたい。

#### (4) 議決事項

議案第18号 精華町いじめ防止基本方針の改定について

教 育 部 長 【提案説明】

内容としては、第7回教育委員会において説明させていただいたものであり、その後、議会の総務教育常任委員会やパブリックコメントにおいて意見をいただき、その内容を反映したものである。

総括指導主事 この間、本町の関連する各組織、いじめ防止対策委員会、いじめ問題対策連絡会議、いじめ防止実務担当者会議、総合教育会議、教育委員会、議会の総務教育常任委員会で議論や意見を

いただいた。9月28日から1カ月間、パブリックコメントを実施し、3件の意見をいただいた。各組織においては、基本的には肯定的な意見をいただいております、それらの意見を反映させ、最終案としてとりまとめを行ったものである。

松本委員

方針の中に、「いじめの早期発見は、教職員・保護者と児童生徒とが常日頃から信頼関係を築きながら」との記載があるが、これは教育の基盤であり、学校教育が成立するために最も重要であることから、是非とも心がけていただきたい。

また、いじめへの対処について、「いじめがあることが確認された場合、学校は直ちに、いじめを受けた児童生徒やいじめを知らせてきた児童生徒の安全を確保し、いじめたとされる児童生徒に対して事情を確認した上で適切に指導するなど、組織的な対応を行うことが重要である。」と書かれている。これは、周知の事であり私の体験でもそうであったが、生徒指導の原則として、生徒指導の事象について聞くときには、例えば5人の対象者がいる場合、5人の先生が同時に1人ずつ聞くといった組織的な対応が必要不可欠である。

いじめ問題について、基本方針を作成することは非常に重要であると思うが、この方針が生きて働くようにすることが最も重要である。実際にいじめが起こった場合には、誠意を持って取り組む必要があるが、初期対応が最も重要であり、真摯に話を聞き、迅速に組織的に対応する必要がある。これが不十分であると被害児童生徒が苦しむこととなるため、初期対応の重要性については十分に認識していただきたい。

松下委員

「地域との連携」の項目において、「地域学校協働本部等が設置されている場合」とあるが、設置されている学校はどこか。また、「これらの仕組みが設けられていない場合には、民生委員や町内会等の地域の関係団体等に働きかけながら」とあるが、この地域の関係団体とは主に自治会を指しているのか。最近では、ボランティアの方が学校の登下校の見守りをしている場合もあり、その中で異常を察することもあるかもしれないが、昔は学校が終わると、皆で外で遊ぶことが多く、地域の子もた

ちを見守ることができたが、最近では、学校から帰ったら塾や習い事、遊ぶにしても家の中でゲームをするなど、地域の中でいじめを発見することは難しいと感じる。ここでの「地域との連携・協働を進める」の意図や内容について聞かせて欲しい。

生涯学習課長 地域学校協働本部については、昔の地域学校支援事業が平成30年度から地域学校協働本部という名称に変わり、各中学校区に1つずつ設置をしている状況である。

教 育 長 この地域学校支援本部等の等に当たるものは何か想定したものがあるか

学校教育課長 例えば、精華中学校のコミュニティー協議会の様々な活動がある。

総括指導主事 地域学校協働本部が設置されていない場合の団体としては、例えば登下校を見守っていただくスクールサポーターのような学校、子どもに関わっていただいている関係団体というイメージで記載している。

教 育 部 長 精華町では毎年4月に自治会長の懇談会を開催しており、その中で、自治会については、子ども会や防犯委員会等の地域の様々な団体を統括していただく位置付けをお願いしており、基本的には自治会を通じて連携するということになる。

ただし、先ほどのスクールヘルパーであれば、単独の団体ということもあるので、各自治会の中の団体のほか、関係すると考えられる団体に対しては情報発信し、協力をお願いしていきたいと考えている。

松 下 委 員 各小学校区を最小単位とすれば、小学校区内には複数の自治会が存在するが、自治会によって状況はまちまちである。各学校はどこまで発信するべきか難しいところであり、個人情報の問題もあるため、整理の上でマニュアル的なものの作成が必要になるのではないか。

教 育 部 長 いじめに関しては、そのような問題も含むので慎重に取り扱う必要があることは十分認識している。協力いただける状況はそれぞれ違うと思うので、全て発信してという事でないと認識している。

(採決 ー 全員挙手により原案どおり決定)

議案第19号 精華町通学費補助金交付規則廃止について

教育部長 【提案説明】

本町では、精華町立小学校及び中学校への通学に要する交通費に係る保護者の経済的負担の軽減を図るため、交通機関を利用した通学に必要な経費について、精華町通学費補助金交付規則に基づき、通学費の補助を行ってきた。今回、精華町補助金等の交付に関する規則（平成22年規則第19号）に基づき適正に執行するため、新たに制定する精華町通学費補助金要綱により補助を行うので、それに伴い、精華町通学費補助金交付規則（平成28年教育委員会規則第4号）を廃止するものである。

附則として、この規則は、平成31年4月1日から施行する。

松本委員 内容は変わらずに、交付決定を教育長でなく町長が行うという理解でよいか。

教育部長 その通りである。

(採決 ー 全員挙手により原案どおり決定)

#### (5) 事務局からの諸報告

教育部長 1 精華町まちづくり基本構想策定について

現在、教育部では、防衛省の支援をいただき、今年度に基本構想の策定、次年度に基本計画及び実施計画の策定を予定している。その内容については大きく2点あり、1点目は、中学校給食の実施を見据え、加えて本町の防災計画に基づく食料供給計画に連動する、災害時の食料供給拠点ともなる「防災食育センター」について。2点目は、打越台環境センター跡地の活用なども含めた、町北部地域のまちづくりの一つの拠点となるべき生涯学習機能を持った施設の整備に付加価値要素を盛り込んだ、「防災受援施設」の整備などについての構想の策定である。

まず、本町の中部から南部、いわゆる祝園駅から山手幹線、そして南下をして精華大通りを西に向かい、けいはんなプラザまでについては、スイーツ店が点在することにあわせ、例えば北稻地域の武内神社や山城国一揆終焉の地、そして、現在再整備中の日本遺産の跡地、植田地域には河井寛次郎が愛した釈迦の池の風景、精華台地域には畑ノ前遺跡などに代表される歴史的地域がある。そして精華大通りには、国立国会図書館や最先端技術が集積されている、精華西木津地区としての学研地域企業群などがある。こうした精華町の交流人口増加も見込めるまちづくりが、中部から南部にかけては一定整備がされている。

一方で北部地域では、狛田駅東地区において区画整理事業が完了しつつあるものの、今後においては、狛田駅西地区の整備や京阪及び近鉄の開発なども控えている中で、単に開発に伴うまちづくりだけではなく、北部地域にも点在している歴史的遺産、例えば旧陸軍軍用鉄道、川西側線の煤谷川鉄橋跡や、天武天皇の皇子で舎人親王の孫に当たる和氣王が埋葬されていると伝わる4世紀から5世紀にかけて造られたと考えられている鞍岡山古墳群、祭神が管原道真で北野天満宮から神をお迎えしたと伝わる鞍岡神社、そして行基上人が建立し、京都の永観堂から梵鐘を譲り受けている若王寺などといった、町内の名所旧跡も多くある。加えて、狛田駅から陸上自衛隊祝園弾薬支処までのいわゆる自衛隊道については、過去、国体開催に向け、コスモスを両側に植えてコスモスロードとして整備していた時期もあった。そして学研地域としての南田辺、狛田地区として京都府立大学も含んだ一帯を北部地域のまちづくりとして、それらの拠点となる施設を、打越台環境センター跡地の活用なども含めた防災受援施設として整備する構想を今年度策定する予定ということである。

現在の進捗状況としては、庁舎内各関係課で構成される「精華町まちづくり基本構想等策定庁内検討委員会」を11月7日に開催し、12月11日には「精華町まちづくり基本構想策定懇話会」を予定している。この懇話会のメンバーについては、

学識経験者として、京都府立大学の宗田副学長、そして、京都大学防災研究所の多々納教授、住民代表として公募委員が1名、教育委員会関係からは、精華町社会教育委員会から高鍋副委員長、まちづくり団体からは、けいはんな学研都市精華地区まちづくり協議会の井原事務局長、精華町社会福祉協議会からは福味理事の計6名の皆様をお願いをしており、オブザーバーとして、近畿中部防衛局にも出席をお願いしている。また、住民向けアンケートについても、近々実施をする予定である。

今回の構想策定については、その基本となるのは、防災食育センターと北部地域のまちづくりの拠点施設の一つでもある生涯学習機能を備えた防災受援施設の整備が中心ということであるので、教育部を中心に取り組みを進めているところである。

#### 総括指導主事 1 生徒指導報告について

##### (1) 小学校

10月の問題事象はなし。

##### (2) 中学校

9月の問題事象は5件。

##### (3) 不登校について

小学校については14名、中学校については25名とともに増加している。

引き続き丁寧な指導をお願いしている。

#### 総括指導主事 2 相楽地方小学校駅伝大会の結果について

11月10日に不動川公園で開催され、本町の精華台小学校が優勝した。上位7位までが12月1日に行われるやましろ未来っ子EKIDENに出場する権利を得ることから、本町からは、精華台小学校と6位の東光小学校が参加する。

#### 学校教育課長 1 小学校の空調設備の工事進捗について

空調整備については、昨年度の中学校の整備に引き続き、今年度については小学校への整備を行っており、5月23日に議

会の議決をいただいた後、工事を進めてきた。工期は12月26日となっており、5小学校とも進捗は順調で、現在は最終仕上げの段階である。竣工検査が完了すれば、年明けには冬場の暖房として稼働する。教室内の工事については、可能な限り夏休み中に実施しており、授業への支障は特になかった。

学校教育課長 2 食育の取り組みについて

毎年、各小中学校では地元農家やボランティア、農業委員会の方の協力を得て、農業体験として田植えや稲刈りを行っている。11月8日には山田荘小学校で餅つきを行い、保護者と子どもたちが収穫を祝う学年行事があった。実際に杵と臼を使って餅つきを行っており、貴重な体験になったと考えている。

また、同日に精華南中学校で、精華町の食生活改善推進委員であるあすなろ会の協力を得て、1年生の調理実習が行われた。一つ一つの工程を丁寧に教えていただき、こちらについても子どもたちにとって貴重な体験になったと思う。

あすなろ会については、この間、毎年精華南中学校で協力をいただいているが、他の学校への協力もお願いできるとのことであり、学校と調整しつつ取り組みを進めたいと考えている。

他にも食育の関係では、役場の関係課による様々な取り組みを実施しており、10月19日には食育の日ということで、これもあすなろ会の協力を得ながら、関係各課と祝園駅前で食育の街頭啓発を行った。

学校教育課長 3 手洗い・うがいの徹底について

いよいよ12月に入ると寒くなり、インフルエンザウイルスやノロウイルスが活発になる。子どもたちや教職員に対し、手洗い・うがいを徹底してもらうよう、先般の校長会、教頭会で注意喚起を行った。

学校教育課長 4 安全・安心まちづくり会議について

木津警察署と精華町とで安全・安心まちづくりの協定を結んでおり、情報共有の会議を年2回行っている。11月22日には、木津警察署長をはじめとする木津署幹部、本町からは町長副町長、教育長をはじめとする各関係部署の管理職が出席し、

今年度の2回目の会議を開催した。

子どもに関係する部分では、交通安全や不審者、防犯などの情報共有等や、警察の協力のもと実施している薬物防止教室や交通安全教室などの取り組みの情報共有等を行い、より一層の連携・協力を依頼した。

#### 生涯学習課長 1 第16回精華町子ども祭りの開催について

11月18日の日曜日、リニューアルして初めての第16回精華町子ども祭りをけいはんなプラザにて開催した。大きな事故やトラブルもなく、無事に終了することができた。教育委員の皆様には会場へ足を運んでいただき、岡島委員におかれては実行委員として、構想段階からお世話になり感謝している。

けいはんなプラザのメインホールにおいて、少年少女合唱団による合唱のほか、各学校による絵画の発表、吹奏楽といったステージイベント、また、イベントホールやメインホールのホワイエにおいては、子どもたちが色々なものを制作したり、昔遊びをしたり、楽器を弾いたりといった体験学習コーナーなど、延べで約4,000人の来場者があった。実行委員会の反省会等において、意見や課題などを各委員から頂き、十分な検証を行った上で今後につなげていきたい。

#### 【委員の意見等】

新 司 委 員 地域の方々の協力を得ながら、子どもたちが様々な体験をさせていただいている事は本当にありがたいと感じている。

精北小学校では、1、2年生の芋掘り体験があり、保護者も見学することができる。保護者が一緒に見学できるというのは素晴らしいし、また、保護者の中には芋を育てる経験の少ない方もおられたようで、子どもたちの様子を見ながら地域の人へ感謝したり、子どもたちと一緒に喜んだりしておられた。

子ども祭りについては、音楽の発表を見させていただいたが、素晴らしいホールで発表できる事は、子どもたちにとって心に残る良い思い出になると思った。音響も素晴らしく、発表した

子どもたちも見ている側も本当に心が豊かになると感じた。保護者だけでなく、もっと多くの方に見ていただきたいと思った。

学校訪問については、今年は各学校の特色ある教育活動についてご報告をいただいた。それぞれが地域や学校の特色、課題を踏まえ、しっかりと特色を出して頑張ってもらったという事を各学校で伺い、先生たちに頭が下がる思いである。

また、子どもたちと直に触れ合いながら一緒に給食を食べたことは大変嬉しいことで、子どもたちや先生にも歓迎していただき、楽しい食事のひとつときを持たせてもらった。

松本委員

小学校の空調については最後の仕上げということで、来年度から小中学校でエアコンを稼働することができる。これで2学期開始時期が前倒しでき、事務局と町長初め、関係する方々の努力に感謝したいと思う。子どもたちにとっては、生徒指導上も安定するし、併せて集中力が上がることで学力にも良い影響があると思う。

小学校の駅伝については、練習した児童、指導にあたった先生方は非常によく頑張っていたと思う。

生徒指導の報告について、特に深刻な情報はなかったと思うが、引き続き様々な事象について、解消していくようお願いしたい。不登校に関して、少し人数が増えているような話もあったが、不登校の問題というのは児童生徒だけでなく、その親や家族にとっても本当に深刻な問題であるので、引き続き、きめ細かな指導をお願いしたい。

岡島委員

不登校の人数が増加しているが、理由は様々で、特にいじめられているわけでもなくとも、少し辛い事があったりした時に、思春期と重なって行けなくなってしまうこともある。親として何が出来るかはわからないところであり、とても難しいことであるが、先生方にはきめ細やかに指導していただきたい。また、スクールカウンセラーも保護者に活用していただきながら、少しでもその子どもの心が元気になるような手助けになればと思う。長い目で見えていただけるとありがたい。

学校訪問について、子どもたちと給食を一緒に食べることが

できることは本当に楽しく、一緒に給食を頂いた際も、話をしながら楽しく食べさせていただいた。楽しく食べるからおいしい、おいしいから元気になるという、給食に食育としての良い部分がたくさんあるのではと感じた。

授業については、先生方が子どもたちのことを考えて指導計画も立てておられると感じた。子どもたちの学習意欲がどんどん湧くような、わかりやすい授業をしていただけたら、親としてはありがたいと思う。

松 下 委 員

子ども祭りについて、単純に子どもたちが出演して演奏したり発表したりということだけではなく、住民と一体となって工作するなどの体験コーナーがあり、見ていて非常にほほ笑ましく、本当に良い取り組みだと感じた。

出演団体の中には、小学校であるにもかかわらず、中学校としてでもトップクラスのレベルだと思う学校もあり、出演している子どもたちは自分のプライドや尊厳など、彼らは演奏を通して凄いものを持っていると感じた。演奏している子どもも見ている保護者の方も笑顔で、素晴らしいものを見せていただいた。あのレベルまで指導しようと思えば高い指導力や多くの時間が必要だと思う。働き方改革を進める上で少し心配なところもあるが、ぜひ頑張っていたいただけたらと思う。

学校訪問については、府内の教育委員会の研修会があった際に話を聞いたが、全小中学校を訪問しているところは府内でも非常に少なかった。町内の8小中学校全てを訪問できる精華町の取り組みは先進的であり、ありがたいと思う。

学校訪問を通じて感じたことを3点お話したい。1点目は、全ての学校においてユニバーサルデザイン化ができていたことである。最近では、周りが乱雑であると集中できない子どもが多く、教室内を綺麗にしておく事は非常に重要である。ある小学校においては、時計を教室の後ろに置くことを徹底しているところもあった。

2点目は、児童生徒の様子について。表面的には非常に落ちついているように見えるが、子どもたちの個々の状況を見てい

ると、悩みを抱えているようであったり、少し課題があると思われるわたりするような場面もあった。生徒指導については、昔のように単純に子どもを指導するだけではなく、教科道徳と特別支援と特別活動の3要素が組み合わさってこそ、そこで初めて生徒指導として機能するものであり、3つのリンクした指導を継続していただけたらと思う。

3点目は給食について。様々な学校で給食を食べてきたが、本町の給食は本当においしく、自慢であると思う。子どもたちも、落ちついて食べており、良い状況であった。2点だけお願いしたいことがあり、1つは食事の色のバランスをちょっと考えていただけたらと思った。お金の面もあるが、もう少し赤や緑を入れていただけるとありがたい。もう1点は、安全・安心な給食の提供、異物混入とアレルギーの問題である。最近では、アレルギーの子どもが増えてきており、それらを把握し調理する人と指導する担任の先生が連携して対応する必要があり、継続して慎重な対応をお願いしたい。

ハード面でお願いをしたいことが1つ、多額の予算が必要になると思うが、電子黒板の整備である。小学校でのプログラミング教育の導入など、様々な要素を考慮すると、45分、50分の授業時間の中で学力を付けていくためには、子どもたちがコミュニケーションできる授業にしていかなければならない。その時間を十分にとるためには、無駄を省いて時間を生み出す必要があるが、タブレットパソコンと電子黒板を導入すれば、これまで板書に使っていた時間を省くことができる。その時間の累積が充実したコミュニケーションの授業を作り、学力向上につながると思う。中学校給食の実施など、まだ課題は残っているが、今後を考えると電子黒板は必須である。導入したとしても、先生も子どもも使いこなすには時間がかかること、授業改善や議論する道徳など電子黒板があればスムーズに進むことが多くあることなど、できる限り早期の整備が望ましい。

最後に、子どもたちを見ていると、やはり学力に格差がある。上は上で伸ばさないといけませんが、課題のある子どもたちを克

服することが義務教育の最大の課題である。近隣の小中学校では、地域協働により地域とのつながりの中で取り組み、1年間かけてかなり向上したという話を聞いており、これについても議論していただければありがたい。

川村教育長 私からも学校訪問で感じたことを少し述べたい。給食はとてもおいしかった。色に関するお話もいただいたが、青いもの赤いものは食材としての価格もあるので、おいしさの次に追求できればいいと思う。アレルギーや異物混入に関しては、真剣・慎重に取り組む必要がある。近隣でもアレルギー物質を含む食物を食べさせてしまったという事象が発生しており、事務局、現場ともども気をつけていきたいと思う。

それから、ハード面で電子黒板の必要性を強く訴えられたが、ICT教育に関する機器整備については今後の課題として認識している。

子ども祭りでの吹奏楽の演奏は本当に素晴らしかったが、かなり古い楽器も使用している事が気になった。この辺りの支援をどういう形で行政として行うことができるか検討する余地がある。

松下委員 使用していた楽器は廣学館高校の楽器であるか。

川村教育長 大型の楽器については、廣学館高校のものを運んでいただき、それを共用した。廣学館高校には非常に感謝をしているところである。

#### (6) 後援関係

10月から11月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数15件、学校教育課関係が0件、生涯学習課関係が15件である。内訳は、社会教育係が15件、社会体育係が0件。

#### (7) 12月の行事予定

#### (8) 閉会

教育長が第11回教育委員会の閉会を宣言。